

施設めぐり

川越運動公園

総合体育館

TEL 224-8765



6月15日には、市立川越高校が出演し、インターハイ女子バレーボールの予選大会が行われました

同体育館は、平成七年に完成し、メインアリーナ・バレーボールやバスケットボールなどをする事ができるサブアリーナ・武道場・弓道場・トレーニング室などを備えています。メインアリーナは、バレーボールのコートを三面取れる広さがあり、約二千二百の観覧席があります。昨年には、バレーボールやバスケットボールのプロリーグも行われました。

同体育館で人気があるのが、トレーニング室。ランニングマシンやベンチプレスなどの機器が、充実しています。市民の皆さんは、一回三百円で入室できます。詳しくはお尋ねください。同体育館は、まもなく開催されるインターハイで、弓道と女子バレーボールの会場となっています。詳しくは、八ページをご覧ください。

人権教育シリーズ

児童・生徒の人権作文⑫

生涯学習課・TEL 224-6086

このシリーズでは、昨年一月二十六日にメルトで開催された、平成十八年度川越市人権教育実践報告会で発表した、小中学生の人権作文を紹介します。

世界中の子どもたちが③

大東西中学校三年

「私はこのままで良いのだろうか。」努力ができる子はまだ良い方だ。でも、今も世界のどこかでは人種や見た目の違いだけで差別を受ける子がいる。国の都合で戦争に行かされる子がいる。寒空の下、荒れ果てた道路で死んでいく子がいる……。努力したくてもどうすることもできないのだ。私たちがのように毎日何の心配もなく生活することのできる子どもは、世界の中でも限られているのだ。こんな現実がある中でも、私は毎日ただ何となく過ごしていくだけなのか。

「いや、それではいけない。」私たちは恵まれている。親がいる。学校がある。これはあたりまえのことではなく、とてもありがたいことなんだ。

だから、そのことにもっと感謝するんだ。そして、毎日を精一杯努力して生きるんだ。コーチは私たちにこのことを伝えたかったんだと思う。そして、恵まれない子どもたちがいる、という事実を知った私たちは、その子どもたちのために何ができるのか、を考えていく必要があると思う。アメリカで人気の歌手たちが、アフリカの餓死救済のための企画で歌った曲がある。私たちは仲間であり、そして世界という大きな家族なのだ。知らないふりはできない。一人一人が協力し、助け合い、一つになることが大切なのだ。

「感謝し、毎日を精一杯生きること。」一人一人が協力し、助け合うこと。」これができたとき、そこには世界中の子どもたちが、笑顔でサッカーをしている未来があるのではないだろうか。



学校がある。これはあたりまえのことではなく、とてもありがたいことなんだ。

*ふりがなは広報室で付けました。(終わり)

いざ！ 災害に備えて④

防災危機管理課・TEL 224-5554

●大地震に備えて その1

もしものときのために、日ごろから家庭での備えをしておきましょう。

生活用品の備え…「非常持出袋」に缶詰・インスタント食品・飲料水など、救援物資が届くまでの2、3日分の食料などを備蓄する▶衣類・懐中電灯・ラジオ・救急セットなどを用意しておく

家の中での安全対策…ガラス窓・食器棚などのガラス製品は、飛散防止用のフィルムや粘着テープをはって置く▶家具の転倒を防ぐため、タンスや食器棚の下に振動吸収用のゴムをはったり、はりや柱にL字形金具やポール式の支えなどを取り付けたりして固定する



「非常持出袋」の、1人分の目安です

知って得する! 川エコの知恵④

ごみ削減の巻

日本で年間使用しているレジ袋の枚数は、国民1人当たり、なんと約250枚。買い物にマイバッグを利用し、レジ袋を断ると1人1日当たり二酸化炭素の排出量が約69g削減されます。

市では回収した古紙を再利用した川越ブランド製品(川越E.C.O.ロールなど)や、マイバックや風呂敷などを作成し、リサイクルとごみの減量に努めています。今までごみとして捨てていた物を、大切な資源として繰り返し利用していくことは、地球温暖化防止につながっていきます。

「ゴミを減らす (Reduce)」、「繰り返し使う (Reuse)」、「再生利用する (Recycle)」、「不要なものを断る (Refuse)」の4Rを心がけましょう。

さて、今回から6回にわたって、クイズ「川エコ」を掲載していきます。5問以上正解の方の中から抽せんで、すてきな景品をプレゼント!

【問題】国民1人当たりが年間に使用するレジ袋は何枚?

- ①25枚 ②250枚 ③2,500枚

* 応募用紙は、市のホームページからダウンロードできます。また、環境政策課(本庁舎5階)・出張所・公民館などでも配布しています。

* 「第6回のクイズ終了後」に、応募用紙に答えと必要事項を明記し、左上の応募券を6回分はって、環境政策課へ提出してください。なお、提出で得た個人情報、景品の発送以外の目的で使用しません。

問い合わせ…環境政策課・TEL224-5866



けんこうメモ

未成年の喫煙を 防ぎましょう

総合保健センター健康増進担当・TEL229-4121

「未成年の喫煙行動に関する全国調査報告書(平成十四年)」によると、高校三年生男子の四人に一人が、毎日たばこを吸っているという結果が出ています。未成年の喫煙が、特に体に害がある理由には次のことがあげられます。

①成長期の体は新陳代謝が活発で、たばこの有害物質が取り込まれやすくなっているため、大人と比べてニコチン依存症にな

りやすい
②吸い始めが早いと、それだけ長期にわたって喫煙することになり、将来、がんなどの病気を発症する危険性が高い
「好奇心」「友達に勧められた」など、軽い気持ちから始めた喫煙が、短期間のうちに重度のニコチン依存を引き起こしてしまうケースが多くなっています。
また、「家庭内でたばこを吸う

人がいた」ということも、きっかけの一つにあげられています。親に喫煙習慣があると、小さなころから身近な所にたばこがあるため、喫煙への抵抗感が低いと考えられます。
未成年が喫煙をしないように、「子どもの前では吸わない」「身近にたばこを置かない」など、大人が気を付ける姿勢は、大事なことです。

Report

消費生活レポート

158 街角で、チラシを配布していたので……

事例

繁華街の入り口で呼び止められ、「これを持って行ったら、いい物がもらえるよ」と粗品引換券をもらい、教えられたビルに行った。そこで、いろいろな雑貨品を無料でもらったが、最後に高額な電気治療器を契約させられた。

これは、催眠商法(SF商法)といい、悪質商法の一つです。ほんとうに売ろうとする物を隠して会場に人を集め、無料の品で場を盛り上げ、興奮させた状態で高額な商品売りつけます。いつの間にか会場に一人だけになり、断りきれなくなったり、家までついて来られたりすることもあります。

消費者へのアドバイス

- ①無料で物がもらえるような、そんなうまい話はありません。近寄らず、話を聞かないことが第一です。
- ②万が一、被害にあってしまったら、クーリング・オフ制度(一定期間以内なら無条件で契約がなかったことにできる制度)があります。消費生活センターにご相談ください。

消費生活相談

生活情報センター・市民相談室分室で行っています。詳しくは、毎月二十五日発行の広報川越・市民相談案内をご覧ください。

問い合わせ：生活情報センター(アトレ六階)

TEL226-7066

(相談専用) TEL226-7476